

No. C01	Aグループ	年月日	令和4年11月6日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

CLは、結婚後14年間専業主婦であったが、離婚を機に不動産会社の事務職員で正社員として働いている。ママ友のリモートワークでの働き方を羨ましく感じ、柔軟な働き方をしたいと思い、転職を考えている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークでの仕事をしたいと思うかどうかを問いかけることで、テレワークができる環境のおかげで子どもを見ることができるママ友が羨ましく感じる気持ちを内省し、改めて整理して考えてもらうため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1) ママ友を羨ましいと思う気持ちから自分の仕事について悩む自己理解不足。(2) 安定した仕事や柔軟な働き方に対する仕事理解不足。(3) 状況をよく確認せず思い込みで物事を決めつけている。

②その根拠 (1) ママ友のテレワークができる環境が羨ましいという理由で転職を考えている。(2) 家でできる専門的な仕事は柔軟な働き方ができ、資格があれば安定した仕事につくことができると考えている。(3) 具体的に何かあったわけではないのに、今の会社は最近経営状態があまり良くない気がするという発言より。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

この後は、仕事と子育てを両立しながら頑張ってきたことを労い、引き続き信頼関係を構築する。

(1) お子様たちをもっと見たいというCLの気持ちをさらに聞いていき、いつ頃までどのくらい見ていたのかという部分について、改めて整理して考えていただく。(2) ママ友の仕事やご自身の仕事について改めて考えてみてもらい、柔軟な働き方や安定した仕事についての仕事理解を促す。(3) 現在の会社の状況について改めて考えてみてもらう。以上から、今後のCLの働き方について納得がいくまで考えてもらい、これから先、やりがいを持って働き続けることができる様に支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C02	Bグループ	年月日	令和4年11月6日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

子供の勉強を家で見たいが、今の会社ではテレワークはできないと思う。今の会社は経営状態もあまり良くない気がする為、転職した方がいいのかと思うが、ウリになるようなものも無く、どうしたらいいのかわからない。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

応答した意図は、相談者がテレワークを望んでいるのか、また、テレワークができない今の状況をどのように捉えていて、テレワークができるとどのように変わるのかを確認するためだと思われる。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 仕事をする上での価値観やこれまでの経験、スキルについての自己理解不足と、今の会社での働き方や経営状態についての仕事理解不足があると考えられる。

②その根拠 相談者の、「手に職をつければ、この先安定した仕事ができる」、「何もウリになるようなものも無いし」という発言や、「テレワークができる様にならないか上司に言っても無駄だと思う」、「今の会社は最近経営状態もあまりよくないような気がする」という発言が根拠である。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、仕事と育児を両立してきた相談者を労いながら、転職した方がいいと思う相談者の感情を丁寧に傾聴し、今後のキャリアを冷静に考えられるよう促したい。その上で、ジョブカードの職務経歴シートを紹介し、作成を通じてこれまでの経験の棚卸しをしてもらい、経験やスキルの理解を促す。また、上司にテレワークの可否や会社の経営状態について話を聞くことを提案し、それらの理解を深めてもらう。さらに、「働き方に柔軟な環境」、「安定」など、仕事上での価値観を整理することを促し、仕事に関する価値観の理解を促進させる。以上により、相談者が主体的に今後のキャリアを意思決定できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C03	Cグループ	年月日	令和4年11月7日(月)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

会社で苦勞して仕事と子育ての両立をしてきたが、コロナ禍で子供を家で世話をしたいが、テレワークの働き方もできそうもなく、安定した仕事に就きたいと悩んで相談に来た。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

ママ友のテレワークができる環境への認識を相談者に問いかけることで、相談者が今の会社ではテレワークできないとの強い思いの内省を促し、問題点を明確にして、今後の働き方に繋げるために応答したと思われる。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 相談者は、上司とのコミュニケーション不足から情報不足が見られ、会社の将来性に不安を感じ、思い込みから漠然と専門資格を取って、転職した方がいいのかと考えているように見える。

②その根拠 コミュニケーション不足は、「上司に言っても無駄だと思う」の発言から。会社の情報不足は、「今の会社は最近経営状態もあまりよくないような気がする」の発言から見受けられる。思い込みについては、「資格を取れば、転職活動も有利になるし」等の発言からそう思われる。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者が学校を卒業後就職、結婚、離婚を経て、再就職により、仕事と子育ての両立で様々な苦勞をされた事を労い、寄り添いながら関係構築を図る。上司とのコミュニケーション不足解消のために、上司との関係について内省を促し、意思疎通を図る方法を一緒に検討する。会社の情報不足解消のために社内の他部署でコンタクトが取れる人の存在などを聴き、情報収集の方法を検討いただく。また、思い込みの解消に向けて、相談者の経験が会社のテレワークで活かせる部署の存在がないか確認する。以上により、相談者にとって最適なワークライフバランスを選択いただけるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C04	Dグループ	年月日	令和4年11月6日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

14年ブランクがあり、仕事を探すのも大変だった。現在は正社員で働いており、仕事と子育てを両立してきたが、コロナ禍の異影響でテレワークなど柔軟な働き方ができればと思っている。転職した方がいいのか。どうしたらいいかわからず来談。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

「多くのママ友はテレワークができていて環境で働いているので羨ましい」という言葉から、Zさんの言語化されていないテレワークに対する考えや思いを明確化する意図で応答したと思われる。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1) 就職する時や仕事と子育ての料理する上での価値観という点で自己理解不足があり、(2) 資格があれば専門的な働きができるという点で仕事理解不足があり、(3) 会社の方や上司とのコミュニケーション不足があると思われる。

②その根拠 上記の1) 「仕事を探すのも大変だった」「転職した方がいいのかな」などの発言から。2) 「資格を取れば転職活動も有利になる」「手に職をつければ、この先安定した仕事ができ、転職とかの心配をしなくて済む」などの発言から。3) 「上司に言っても無駄」「具体的に何かあったという訳ではない」などの発言から。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

Zさんの「子育てと両立していくことも本当に大変だった」という気持ちに寄り添いながら丁寧に傾聴を続け、次の順に進めていく。そして、設問3①(1) 以前や今、働いている仕事の経験を棚卸しし、自己理解を深める。また、Zさんの同意を得て「私のキャリアと子どもの成長シート」を記入していただき、価値観と適性について考えていただく。(2) jobtagを利用して資格取得について働き方を知って仕事理解を進める。(3) 会社の方や上司と普段どのようにコミュニケーションをとっているのかお聞きし、不足しているところがあるようならお伝えする。以上のことを共に整理・検討し、ご自身にとってよりよい選択ができるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C05	E グループ	年月日	令和4年11月6日(日)
---------	--------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

CLは、結婚後14年間専業主婦であったが、離婚を機に不動産会社の事務職員で正社員として働いている。ママ友のリモートワークでの働き方を羨ましく感じ、柔軟な働き方をしたいと思い、転職を考えている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークでの仕事をしたいと思うかどうかを問いかけることで、テレワークができる環境のおかげで子どもを見ることができるママ友が羨ましく感じる気持ちを内省し、改めて整理して考えてもらうため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1) ママ友を羨ましいと思う気持ちから自分の仕事について悩む自己理解不足 (2) 安定した仕事や柔軟な働き方に対する仕事理解不足 (3) 状況をよく確認せずに思い込みで物事を決めつけている。

②その根拠 (1) ママ友のテレワークができる環境が羨ましいという理由で転職を考えている。(2) 家でできる専門的な仕事は柔軟な働き方ができ、資格があれば安定した仕事につくことができると考えている。(3) 具体的に何かあったわけではないのに、今の会社は最近経営状態があまり良くない気がするという発言より。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

この後は、仕事と子育てを両立しながら頑張ってきたことを労い、引き続き信頼関係を構築する。

(1) お子様たちをもっと見たいというCL気持ちをさらに聞いていき、いつ頃までどのくらい見たいのかという部分について、改めて整理して考えていただく。(2) ママ友の仕事やご自身の仕事について改めて考えてみてもらい、柔軟な働き方や安定した仕事についての仕事理解を促す。(3) 現在の会社の状況について改めて考えてみてもらう。以上から、今後のCLの働き方について納得がいくまで考えてもらい、これから先、やりがいを持って働き続けることができる様に支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C06	Fグループ	年月日	令和5年1月9日(月)
---------	-------	-----	-------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

離婚してから2人の子育てを大変な思いでしてきたが、テレワークができるママ友の環境を羨ましいと思うようになり、転職も視野に入れた子育てと仕事の両立が出来る柔軟な働き方についての相談。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

ママ友がテレワークができて羨ましいと思う相談者の気持ちを受容しつつ、どうしてそのように感じるのか、相談者自身が内省し、テレワークについてどのように捉えているか明確化する意図がある。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 (1)資格を取得すれば転職に有利と考えており、仕事理解不足。(2)仕事をする上での価値観やこれまでの経験等、スキルについての自己理解不足。(3)職場も含めた周囲に対しての思い込み。

②その根拠 (1)「資格を取れば転職が有利になる」「手に職をつければ、安定した仕事ができる」等の発言から。(2)「簡単な事務作業しかできないし、何もウリになるようなものも無いし」等の発言から。(3)「上司に言っても無駄」「今の会社は最近経営状態があまり良くない気がする」等の発言から。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

離婚してから仕事と子育てを両立してきた相談者を労い、引き続き傾聴し信頼構築を行う。そのうえで、(1)転職について具体的に希望する業界や職種を考えているか伺い、場合によっては興味や関心のある事柄についての情報提供を行う。(2)大学卒業後から主婦の時も含め相談者の経験や得意なことを語って頂き、一緒に整理を行う等、キャリアの棚卸しを行う。(3)普段、周囲や上司とどのような会話をしているかを伺い、コミュニケーションについてや現在の会社の状況について改めて考えてみてもらい内省を促す。最終的に相談者自身が主体的にワークライフバランスが取れるように支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C07	Aグループ	年月日	令和5年2月15日(水)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

仕事と子育ての両立に悩むシングルマザー。子どもをもっと気にかけてあげられるという思いがあり、テレワークなど柔軟な環境への思いや資格取得、転職などの選択肢で迷い、今後の働き方が心配で来談。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークで働けるのが羨ましいと思う相談者に、テレワークで仕事をしたいと考えるのかを言語化していただき内省を促す。また、相談者とキャリアコンサルタントともに問題を明確にする意図がある。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 A:柔軟な環境や資格取得や転職の情報が不足、働き方について上司とのコミュニケーション不足などからくる仕事理解不足の可能性。 B:能力、強み、価値観などわからず自己理解不足の可能性。

②その根拠 A:柔軟な環境の具体性の乏しさと働き方について曖昧な発言が多く、テレワークについても上司に言っても無駄だと思い未確認な点、資格を取れば転職活動に有利になると思い込んでいる点。 B:簡単な事務作業しかできない、何もウリになるようなものも無いしとの発言から能力に対して過小評価。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まず子育てと仕事の両立を必死で頑張ってきた相談者を労い、想いを傾聴し関係構築に努める。そのうえで、A:job tag やキャリアインサイトを活用し、多様な働き方や資格や転職に対する情報収集を促し、どのように働いていきたいかを一緒に整理していく。また上司とテレワークも含めた働き方を相談してみることも検討する。B:ジョブカードを使用し、キャリアの棚卸しをしていく中で、能力、強み、価値観に気づけるよう関わり、自己効力感を上げていただく。以上により、ワークライフバランスがとれるような働き方を目指し、相談者自身が主体的に意思決定を行い、自律したキャリア形成ができるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C07	Bグループ	年月日	令和5年2月15日(水)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

離婚後、2人の子育てと仕事を両立してきた。ママ友のテレワークの働き方を羨ましく思い、現在正社員で働いているが、柔軟な働き方が出来ないため、転職も視野に入れて、どうしたらよいかと思っている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

「ママ友は羨ましい」というが、相談者にテレワークで働くことについて改めて考えてもらい、テレワークへの言語化されていない考えや思いを明確化、また実現性についても気持ちを整理してもらうため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 （1）テレワークを含む柔軟な働き方や安定した仕事に対する仕事理解不足。（2）仕事をするうえでのスキルや経験についての自己理解不足。（3）会社の経営状態、就業形態に関する思い込み。

②その根拠 （1）「子供のことを気にかけて」「手に職をつければこの先安定した仕事ができる」の発言と（2）「簡単な事務作業しかできないし、何もウリになるものも無い」という発言から。また、（3）「今の会社は最近経営状態もあまりよくないような気がするし」や「上司に言っても無駄だと思う」の発言から確認まで至っておらず、思い込みが感じられる。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

仕事と子育てを両立してきた相談者を労い、ラポールの構築を維持・継続していく。（1）今後のキャリアのためにも「私のキャリアと子供の成長シート」を使用し、働き方について整理して考えられるよう促す。（2）「ジョブ・カード（同意の上）」を活用し、キャリアの棚卸しと方向性の整理を行う。（3）会社の上司とのコミュニケーション不足も思い込みの一因であると推察されるため、One On One ミーティング実施の提案を勧め、また会社の経営状況についても確認するよう促す。以上、ワークライフバランスを重視しながら、どのように働いていくのか主体的に意思決定するとともにその実現に向けて支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C07	Cグループ	年月日	令和5年2月15日(水)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

コロナを機に、もう少し子供の事を気かけられるテレワークのような柔軟な働き方をしたいと思
い、専門的な仕事や安定した仕事への転職等、この先どうしたらいいのかわからないこと。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがど
のような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークで働くことをどのように捉えているのか確認し、テレワーク自体がうらやましいのか、子
供との時間が取れる働き方が羨ましいのか、内省を促し、考えを整理していただきたいという意図。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通
じて、具体的に記述せよ。

①問題 今の職場環境や制度についてと専門性のある仕事についての仕事理解不足があること、
今後どのように働いていきたいかが分からないという自己理解不足があること。

②その根拠 「うちは本社じゃないからね」と言われてしまった。なので上司に言っても無駄だど
思う。「安定した仕事ができる、転職とかの心配をしなくて済むと思う」という発言と、「今は簡単な
事務作業しかできないし、何もウリになるものも無いし・・・。」という発言。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、ど
のような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

相談者の心配な気持ちに寄り添いながら、丁寧に傾聴し、今後について冷静に考えられるように促
す。その上で、今の職場で子育てに時間が取れる働き方ができないか、上司や人事担当者にとどのよ
うに話すか考えていただく。また、job tag で他の仕事について調べることを提案し、仕事理解を深め
ていただく。相談者の同意を得たうえでジョブカードを使用し、今までの経験やスキルや大事にした
い価値観等を整理して自己理解を深めてもらう。これらにより、相談者がキャリアビジョンを明確に
し、子育てとの両立を含めたワークライフバランスのとれた働き方が実現できるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C08	Cグループ	年月日	令和5年6月18日(日)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

専業主婦で14年間仕事をしていなかったが、離婚をきっかけに復職。パートから正社員になることが出来たが、今はテレワークができる仕事も魅力的に感じる。しかし何もウリがなく悩んでいる。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

パートから正社員へ登用された今の仕事をやめてまでテレワークの仕事をしたいのか考えてもらうため。また、テレワークが出来ると生活がどう変わるのか、内省してもらうため。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は2点ある。（1）テレワークであれば上手く子育てと両立できるという思い込みがある自己理解不足。（2）何か専門的な資格や手に職があれば仕事が上手くいくと思っている仕事理解不足。

②その根拠 （1）テレワークで働いているママ友がうらやましい。「テレワークができれば子供の勉強もみてあげられる」という発言から。（2）「専門的な仕事だったらよい」「何か勉強して資格を取るとよい」「手に職をつければ」とは思っているが、具体的なことは考えておらず、状況に右往左往している点。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、これまで大変な中、ひとりで仕事と育児の両立を必死に続けてきた相談者を労いつつ、引き続き信頼関係を構築する。その上で（1）何故テレワークがしたいのか、テレワークが出来る会社に本当に転職したいのかということについて、深く考えていただく。（2）今の会社で得てきたスキルや経験等の棚卸をし、仕事理解を深めてもらう。その他に「経営状態もあまりよくないようだ」「上司に言っても無駄」との発言から職場理解不足や上司とのコミュニケーション不足も考えられるため、正確な情報を収集することで不安を取り除くことを促す。以上により、今後の仕事を主体的に意思決定できるよう支援していく。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C09	Aグループ	年月日	令和5年6月21日(水)
---------	-------	-----	--------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

離婚し、不動産会社での仕事と子育てを両立している。コロナを機にテレワークなど柔軟な環境で働いているママ友を見ると、自分も子供にもう少し見てあげたいと思い、転職を考えるが、どうしたらよいかわからないこと。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークできるママ友が羨ましいという発言に対して、CLの気持ちを確認しようと思い伺った。また、テレワークをしたい気持ちを伺うことで、CLの言語化されていない具体的な気持ちを明確化し、内省を深めようとする意図。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題点は3つある。(1)柔軟な働き方や転職に対する仕事理解不足。(2)先輩や上司とのコミュニケーション不足。(3)CLの今の仕事や今後の子育てとの両立に対する自己理解不足とキャリアビジョン不足。

②その根拠 (1)テレワークをしたら、子供を気にかけてあげられることや専門的な仕事や安定した仕事は抽象的な点。(2)先輩に相談した返答のみを受け止めている点や上司へ相談することを無駄だと思っている点。(3)今の仕事に対して、簡単な事務作業しかできないや何もウリになるようなものもなく、どうしたらよいかわからないと抽象的な点。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、子育てと仕事の両立の大変な気持ちに寄り添いながら、引き続き傾聴を深め、ラポールの形成を行う。そのうえでjob tagを使い、CLの考える働き方について具体的に話を聞いて明確化していく。そして、今の会社でも働き方に対する援助等がないかの確認や、もう少し先輩や上司とのコミュニケーションを円滑にとつていただけるよう助力する。また、マイジョブ・カードを用いてCLの今の仕事内容について明確化し、自身の強みに気づけるように促す。さらにCLが考える仕事と子育てとの両立について一緒に考え、ひとつずつCLの不安を取り除いていく。以上により、CLが主体的に意思決定を行い、CL自身が納得のできるワーク・ライフ・バランスが取れるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。
(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C10	Aグループ	年月日	令和5年10月22日(日)
---------	-------	-----	---------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

離婚後子育てと仕事を両立させてきたが、コロナにより子供の面倒を見てあげられず、テレワークで働くママ友を羨ましく思い、柔軟な環境で働きたい。転職するにしてもウリもなく、どうしたらいいのかわからない。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークできるママ友を羨ましく思う気持ちを受け止め、伝え返すことにより、Zさんの内省を促し、言語化されていないZさんの思いや価値観を語ってもらい、今後のZさんの方向性や方針を見極める為。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は3つある（1）自分にPRできるスキルがないと思い込んでいる、自己理解不足。

（2）多様な働き方について、上司とのコミュニケーション不足。（3）一方的な思い込みの傾向。

②その根拠（1）実際転職する事になったら、今は簡単な事務作業しかできない、何もウリになるようなものも無いという発言。（2）先輩にうちは本社じゃないからねと言われてしまったので、上司に言っても無駄だと思うという発言。（3）今の会社の経営状態も良くないような気がするし、という発言。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、Zさんの子育てと仕事を両立させてきた苦労を労い、将来の不安に寄り添いながら傾聴して、信頼関係を構築していく。支援方針として、（1）今までのZさんの部品メーカー、不動産会社のお仕事を振り返り、強味、スキル等の棚卸しをして、自己理解を深める。（2）多様な働き方の可能性についても上司や人事部等にもコミュニケーションを取ることを提案し、質問内容等を一緒に考える。（3）会社の経営状態についても会社の財務諸表を確認したり、経理部に最近の経営状態の実績と予測を打診したり、ご自身に事実確認の方法を決めてもらう。以上、今後Zさんが主体的に意思決定、行動できるように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙

No. C10	Bグループ	年月日	令和5年10月22日(日)
---------	-------	-----	---------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

相談者の訴懐は、2人の子供を育てながら不登校で悩んでしまっている。とこの町で家で子供の世話をしてあげたい。今の会社では辛い。またこのワークライフバランス、仕事と生活の両立が難しい。今の会社では辛い。どうすればいいかわからない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

相談者の訴懐に対してどう対応しようかという意図で、相談者の言葉から逆方向で、相談者の悩みに寄り添うような言葉をかけている。相談者の思いや価値観を語り、今後の相談者の支援の方向性や方針と見極めるため。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題①とその根拠②について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 主な問題は3つある。(1)自分にできるようなスキルがないと感じている自己理解不足。(2)多様な働き方について上司とのコミュニケーション不足。(3)確認するときに多くの中身を一言で思いこむ傾向がある点。

② その根拠 (1) 実際転職するにあたり、今は簡単な事務作業しかできず、何もわからないような状態に陥っている。(2) 先輩にうちは本社じゃあかかると言われてしまったので、上司に言っても無駄かと思うという発言。(3) 「今の会社は経営状態があまりよくない気がして、いつか転職したい」という発言や「上司に言っても無駄かと思う」発言。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは相談者の今の職場環境を把握し、将来の不安を取り除くことから信頼関係の構築を図る。面談を続ける。支援方針として(1)今の相談者の訴懐から、不登校会社のお仕事を振り直していただき、強味、スキルなどの補強を促している。自己理解を深めていただく。(2)多様な働き方の可能性について上司や人事部門ともコミュニケーションをとり、持たせる雰囲気や環境について相談者と話し合う。(3)会社の経営状態について会社の経営状況を把握し、経理部に最近の経営状況の推移と今後の計画などを相談者に再度確認の方法を渡す。今後の相談者が主体的に意思決定を行うように支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C10	Cグループ	年月日	令和5年10月22日(日)
---------	-------	-----	---------------

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

離婚は2人の小学生の子育てと仕事を何とか両立させているが、その中で自宅学習する子とすると見えてきたところ、プレッシャーで休んでいくと悲しく思う。柔軟な環境で働きたいが、今の環境はなかなか見えない。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

プレッシャーで休んでいくと悲しく思う気持ちを受け止め、実現させるために何か具体的な行動をとり、情報を得ようとしているのかと把握し、その内容と似た情報を提供する。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

- ① 問題(1) 自分自身を過少評価し自己効力感が低下している。整理できず自己理解も不足している(2) 上司とのコミュニケーション不足、思い込みがある社内環境にいる特別意識不足
- ② その根拠(1) 11月から正社員に昇格したのに「簡単な事務作業ばかりでいい」「ウツになるものもない」と言っている(2) 「上司に言っても無駄だ」と思う、「いつかにはなるか心配」と言っている(3) 自分が社内では何を求めているのかを尋ねる情報が不足している

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まず、子育てと仕事を両立させ、11月から正社員に昇格したことを認める。子どもをちゃんと見てあげたいけれど、プレッシャーで休んでいく環境にいるし、いつかにはなるかという心配がある子どもの気持ちに寄り添い、関係構築をしていく。次に、お母さんの仕事の経験と対話し、自分の整理し自己効力感をアップさせる。同時に強みや関心、価値観と併せて自己理解を深めていく。更に、プレッシャーの情報も社内ではどんな役割を期待しているのかと把握し、上司との話し合いを促す。お母さんが子育てと仕事を両立させ、子どもをちゃんと育てたい意思を決定できるまでサポートする。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

No. C10	D グループ	年月日	令和5年10月22日(日)
---------	--------	-----	---------------

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

夫と離婚し二人の子供を育てるために転職し不動産会社で事務職として3年目。コロナ禍で子供二人がオンライン授業となって、今の会社ではテレワークが難しく、転職をしようかと考え相談に来た。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。

テレワークをしたいができない気持ちに寄り添って、「テレワークができる環境で働いているので羨ましい」やテレワークに対してのイメージや思い、子育てがどう変わるのかを深掘りする質問と考える。

【設問3】あなたが考える相談者の問題（①）とその根拠（②）について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題（1）上司とのコミュニケーション不足。（2）転職後の仕事のイメージがなく、具体的ではない。（3）テレワークに対する理解不足。（4）経営状態や対して思い込みでクビになると心配してる。

②その根拠（1）上司に相談するなどの働きかけする前に無駄と諦めている。（2）事例記録を読む限りでは「働き方に柔軟」しか語られていない。（3）テレワークが出来れば子供を見られると思っっていると見受けられる。（4）「経営状態があまりよくないような気がする」と思い込んでいて、確認していない。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

子供と仕事を両立していることを苦労を労い、テレワークをしたい気持ちに共感を示し、信頼関係を構築する。（1）上司とのコミュニケーション不足であることを伝え、無駄と思わず上司とどう話すか一緒に考える。（2）「柔軟」に深掘りし、どんな働き方を目指すか確認。要望に応じて job tag の紹介やGATB をやってみよう提案し情報提供を行う。（3）テレワークが本当にできるか確認していない。加えて、テレワークをしているママ友にテレワークと子育ての両立について知識不足があると思われ、上司に確認とママ友に相談を促す。（4）リフレーミングを試みて、（1）と（3）を踏まえ上司に確認できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。

(2022.11)キャリアコンサルタント試験 実技（論述）解答用紙